



会津能楽堂

能楽秋の会

令和 8 年秋 (福島県芸術祭参加行事)
(第64回会津若松市民文化祭参加行事)

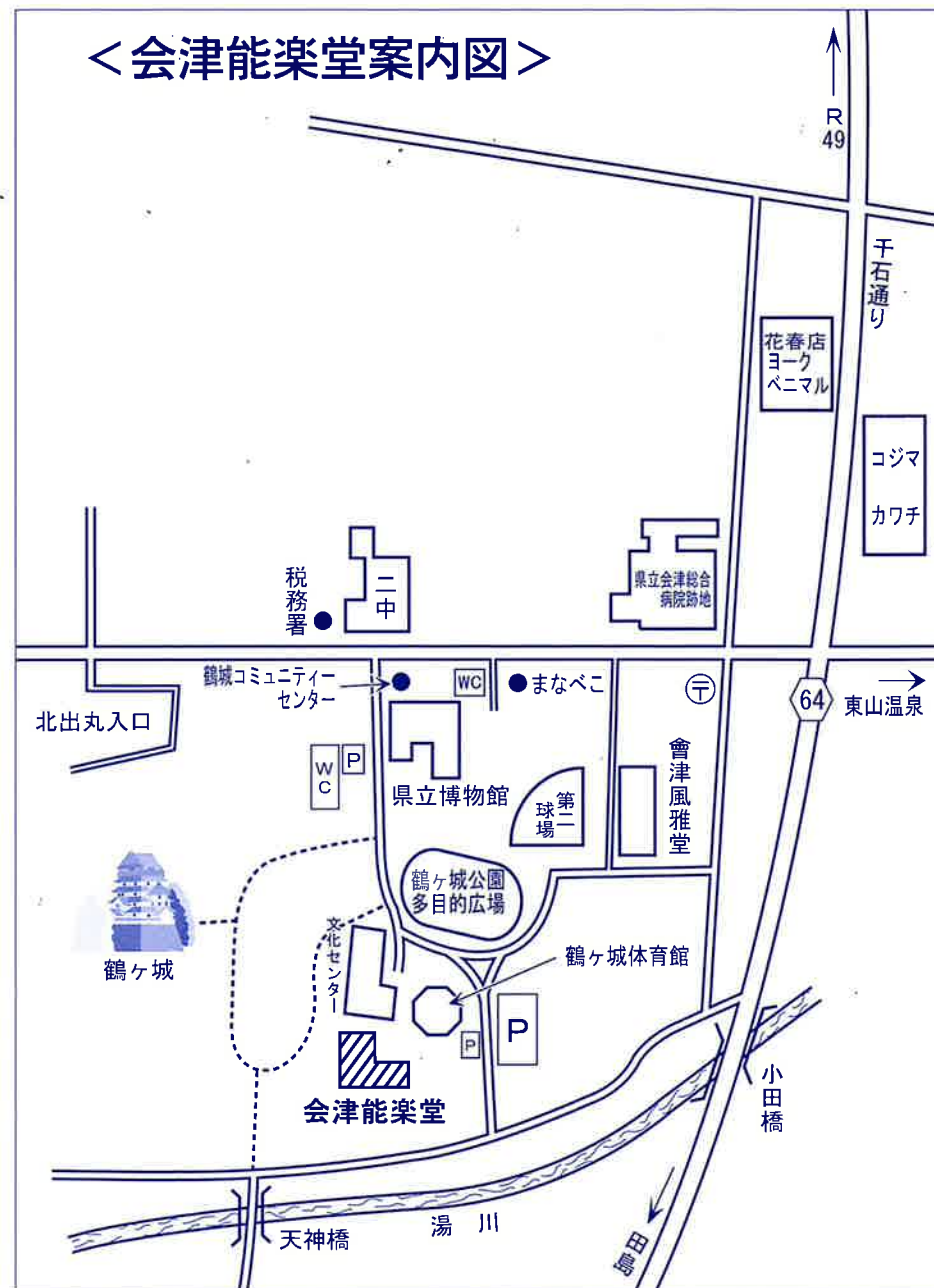
主 催 会 津 能 楽 会
後 援 会 津 若 松 市 教 育 委 員 会
会 津 文 化 団 体 連 絡 協 議 会
福 島 民 報 社 福 島 民 友 新 聞 社

と き 令和 8 年 10 月 24 日 (土) 10 時 始
(開場 9 時 30 分)

と ころ 会津能楽堂

入場無料

< 会津能楽堂案内図 >



◎会津能楽会ホームページアドレス

<http://www.aizu-noh.aizu.or.jp>

舞囃子解説

弓八幡ゆみやわた（宝生流ほうしやう）

物語に登場する弓は桑の弓、魔除けの力があるとされています。舞台は伊勢神宮に次ぐ天下第二の宗廟京都府石清水八幡宮。戦いくさのない天下泰平の世が続くことを願った曲です。舞囃子では、高良かわらの神が「武力は天下を平和に治めるためのもの、争うためのものではない」という思いをこめて、さっそうと神舞を舞います。

草紙洗そうしあら（宝生流ほうしやう）

宮中の歌合うたあわせで盗作の嫌疑をかけられた小野小町おののこまちは草紙を洗い、自らの潔白を証明します。そして自分をおとし入れた黒主を許し、喜びの舞を舞う場面が舞囃子です。舞は中之舞。帝の御代を寿ぎ、和歌の徳を称え、草紙を洗ったように悪事を流し観る人の心も洗うすがしい舞です。

二人静ふたりしずか（観世流かんぜ）

静御前の亡霊と御前がとり憑いた菜摘女が鏡映しのように同じ舞おいまい（相舞）を舞います。義経をしのびつつ、しっとりと舞う序之舞。恋しくてももうあえないという静御前の切ない思いが、笛と大鼓と小鼓と共に天へと吸いこまれていきます。

第二二五回 和楽会の部番組

幸栄会
鶴

◇素謡◇
シテ 木村 睦子
ワキ 安達 常子
全曲

地謡
秋本 征子
栗城 幸子
高梨 光一

一鼓会
経

◇連吟◇
シテ 佐藤 隆
ワキ 坂内 庄一
シテいや雨にてはなかりけり
より終わりまで

地謡
坂内 庄一
佐藤 隆

謡友会
竹生

◇素謡◇
ツレ 五十嵐仙之
シテ 新井田 大
ワキ 吉川 修平
五頁ワキ詞いかにこれなる
より十六頁ハタラキ前まで

地謡
佐藤 淳一
上野 正義
宮崎 弘美

◇仕舞◇
芳馨会
経 政クセ
佐藤 藤枝

玉 葛
竹井亜矢子

地謡
渡部 静子
佐藤ヨシカ
江花 邦子

◇大鼓連調◇
一鼓会
羽 衣キリ
遠藤ヒロ子
新井田 大

地謡
坂内 庄一
佐藤 隆

◇仕舞◇
幸栄会
猩々
木村 睦子

地謡
高梨 光一
栗城 幸子
秋本 征子
安達 常子

金山宝生会
海

◇素謡◇
子方 山口 敏哉
シテ 齋藤 令子
ワキ 滝澤 徳也
十七頁ワキ詞より終わりまで

地謡
渡部 勘治
目黒 政一
星 徹
酒井 健一
栗城 伸吉

芳馨会
紅葉

◇狩◇
ツレ 吉田 徳子
シテ 竹井亜矢子
ワキ 本田 里美
ワキツレ 江花 邦子
始めより十一頁クリ地前まで

地謡
馬場 則子
村越 洋子
松井 恒子
廣木由利子

佐藤 文江
山垣美枝子
佐藤ヨシカ
渡部 静子
小島原 一枝

11時頃

△休憩▽

能楽会の部番組

弓八幡

◇舞囃子◇

大野 篤
大鼓 上野 正義
小鼓 松井 恒子
太鼓 山垣 正英
笛 唐橋 久美

地謡

深谷 信也
坂内 庄一
新井田 大

◇素謡◇

雲林院

シテ 星 忠勝
ワキ 星 安博

地謡

十三頁シテ詞そのさま年のより終わりまで

佐藤かよ子
星田 光子
角田久美子
佐原 昭一
清水 利昭
佐原 芳寿

女郎花

シテ 鈴木 圭介

ワキ 山垣 正英

地謡

吉川 修平
橋本五十雄
猪俣 隆二
成田 良
大野 篤
新井田 大
深谷 信也
佐藤 仁
船木 真一

二頁ワキ詞より十五頁地終わりまで

坂内 庄一
折笠 成美
上野 正義
平山 昇
白井 治男

◇仕舞◇

屋

島 佐藤かよ子

地謡

佐原 芳寿
佐原 昭一
星 忠勝
星 安博

◇舞囃子◇

草紙洗

松井 恒子
大鼓 角田久美子
小鼓 栗城 幸子

地謡

山垣美枝子
佐藤ヨシカ
堀 篤子
遠藤ヒロ子

◇素謡◇

東北

シテ 栗城 幸子

ワキ 浜崎 幸子

地謡

唐橋 久美
廣木由利子
吉田 徳子
竹井亜矢子
村越 洋子
松井 恒子
二瓶 敦子
馬場 則子
宗像 真弓
増井 典子
遠藤ヒロ子秋本 征子
佐藤 文江
宇田 宣子
小野木和子
佐藤ヨシカ
古田 豊子
堀 篤子
山垣美枝子
小島原一枝

待謡より終わりまで

◇舞囃子◇

二人静

佐原 昭一
大鼓 坂内 庄一
佐原 芳寿
小鼓 馬場 則子

地謡

星 安博
星 忠勝
清水 利昭

附祝言

14時頃

お気軽にお出かけ下さい。